

24年11月主要5港コンテナ統計 概要

○11月の5港コンテナ貨物量

- ・5港計の前年同月比は3か月ぶりの▼(減)2.2%。直近12か月平均は0.8%増。コロナ前(19年)比は▼6%。減の要因は、輸出の実入りの大幅減。
- ・輸出実入の前年同月比は4か月連続減で▼11.5%、直近12か月平均▼0.4%。コロナ前比は▼12%。
- ・輸入実入は3か月連続増で、1.4%増、直近12か月平均2.3%増。コロナ前比▼6%。

○11月の各港

- ・計の増加は、東京と大阪の2港。減は横浜、名古屋及び神戸の3港。
- ・東京(2.9%増)は、輸出空コンと輸入実入の増による。なお、輸出実入は不調で▼22.8%。19年比は、計、実入の輸出と輸入とも減。
- ・横浜(▼0.1%)は輸入の空コンの減による。19年比の輸出実入は1%増、輸入実入▼2%。横浜港の2か月連続減は、23年8、9月以来である。同港の増加基調は岐路を迎えたか。
- ・輸出実入の5港計は▼11.5%。横浜(0.1%増)以外の4港は減。
- ・輸入実入の5港計は1.4%増。増は、東京(10.1%)、横浜(3.3%)、大阪の3港(1.0%)の3港。

○空コンの動向

- ・23年10月から紅海での商船攻撃によりスエズ運河を迂回し喜望峰経由を余儀なくされている。航海日数の増加で空コンは過剰から、一時、不足に転じた。空コン輸入の増減幅は、実入と比較して大きい。
- ・5港の空コンの輸出は、約23万TEUで前年同月比15%増で落ち着いている。19年比は増減無し。
- ・5港の空コンの輸入は23年10月～12月は月間約5万TEUと19年比で2倍と大幅増であったが、24年1月は約2万TEUと半減した。2、3月は5万TEU台に上昇したが、4月以降は、2万～3万TEU台で変動。11月は約3万TEUで落ち着いているが、19年比は31%増。
- ・神戸港に23年8月に当NPOから要望した航路別統計については、2022年報に公表され、月報には24年4月発表の1月報から掲載されている。

11月の主要5港コンテナ統計貨物量 ■は増加、▼は減少、◇横ばい

	前年同月比	当月を含む3カ月の傾向	23年12月～24年11月	コロナ前(19年11月)
5港計	2.2%▼	3か月ぶりの減 ■ ■ ▼	0.8%■	6%▼
輸出	2.2%▼	2か月ぶりの減 ▼ ■ ▼	0.3%■	7%▼
実入	11.5%▼	4か月連続減 ▼ ▼ ▼	0.4%▼	12%▼
空	15.4%■	5か月連続増 ■ ■ ■	1.3%■	0%■
輸入	2.1%▼	3か月ぶりの減 ■ ■ ▼	1.3%■	4%▼
実入	1.4%■	3か月連続増 ■ ■ ■	2.3%■	6%▼
空	40.5%▼	6か月連続減 ▼ ▼ ▼	12.2%▼	31%■
東京計	2.9%■	8か月連続増 ■ ■ ■	1.0%■	8%▼
輸出	0.1%▼	3か月連続減 ▼ ▼ ▼	0.8%▼	12%▼
実入	22.8%▼	5か月連続減 ▼ ▼ ▼	7.1%▼	20%▼
空	21.8%■	7か月連続増 ■ ■ ■	4.7%■	5%▼
輸入	5.5%■	8か月連続増 ■ ■ ■	2.6%■	5%▼
実入	10.1%■	8か月連続増 ■ ■ ■	3.5%■	6%▼
空	80.3%▼	3か月連続減 ▼ ▼ ▼	38.1%▼	247%■
横浜計	0.1%▼	2か月連続減 ■ ▼ ▼	2.9%■	2%▼
輸出	1.9%■	2か月ぶりの増 ■ ▼ ■	3.4%■	1%▼
実入	0.1%■	4か月ぶりの増 ▼ ▼ ■	4.6%■	1%■
空	7.8%■	6か月連続増 ■ ■ ■	0.0%▼	7%▼
輸入	2.2%▼	2か月連続減 ■ ▼ ▼	2.3%■	2%▼
実入	3.3%■	10か月連続増 ■ ■ ■	5.0%■	2%▼
空	41.6%▼	8か月連続減 ▼ ▼ ▼	18.7%▼	4%▼
神戸計	14.4%▼	3か月ぶりの減 ■ ■ ▼	3.7%▼	12%▼
輸出	9.7%▼	3か月ぶりの減 ■ ■ ▼	2.1%▼	11%▼
実入	16.9%▼	2か月ぶりの減 ▼ ■ ▼	2.5%▼	21%▼
空	18.4%■	8か月連続増 ■ ■ ■	0.8%▼	42%■
輸入	19.5%▼	3か月ぶりの減 ■ ■ ▼	5.5%▼	15%▼
実入	16.3%▼	2か月ぶりの減 ▼ ■ ▼	2.8%▼	17%▼
空	43.5%▼	2か月連続減 ■ ▼ ▼	23.3%▼	21%■

出所：各港港湾統計を基に作成。ただし、2024年11月の大阪港は速々報値。

(注) 神戸港の輸出空コン 21年8月から増、23年5月まで22か月連続増。

11月の東京港の航路別の入港隻数

- ・ [北米+欧州]航路の隻数は27隻で前年同月より▼13隻。直近1年間、前前年1年間の平均より減少。
- ・ 東南アジア航路は137隻で、前年同月は151隻で▼14隻。直近1年間、前前年1年間の平均より減少。
- ・ 韓国航路の隻数46隻で前年同月は43隻で3隻増。直近1年間、前前年1年間の平均より増加。
- ・ 中国航路の隻数は157隻で前年同月より▼7隻。直近1年間、前々年1年間の平均より▼。

航路	A 11月隻数	B 前年 11月隻数	C=A/B 隻数増減(%)	D=23年12月～ 24年11月の計/12	A/D 隻数増減(%)	E=22年12月～ 23年11月の計/12	A/E 隻数増減(%)	D/E 移動平均 隻数増減(%)
北米+欧州	27	40	▲32.5%	35	▲23.4%	35	▲23.2%	0.2%
東南アジア	137	151	▲9.3%	146	▲5.8%	148	▲7.2%	▲1.4%
韓国	46	43	7.0%	43	6.4%	43	6.8%	0.4%
中国	157	164	▲4.3%	158	▲0.3%	164	▲4.4%	▲4.1%